

令和 6 年 度 事 業 報 告 書

- ・ 施 設 運 営 事 業 報 告
- ・ あ か び ら エ ル ム ハ イ ツ
- ・ ユ ニ ッ ト 型 あ か び ら エ ル ム ハ イ ツ
- ・ あ か び ら エ ル ム ハ イ ツ シ ョ ー ト ス テ イ
- ・ 赤 平 愛 真 ホ ー ム
- ・ 赤 平 愛 真 ホ ー ム シ ョ ー ト ス テ イ
- ・ あ か び ら エ ル ム デ イ サ ー ビ ス

社会福祉法人 赤平友愛会

施 設 運 営 事 業 報 告

1. 施設運営共通

1) 従来型とユニット型の併設を生かした運営

- ・高齢者の価値観の多様化により、従来型を好む高齢者、ユニット型を求める高齢者など様々なニーズがある中、それぞれの特徴を生かしたうえで、施設での暮らしに生き甲斐を見出すことのできるようよりよい介護サービスの提供に努めました。
- ・ユニット型エルムハイツ及び愛真ホームにつきましては、これまで培ってきた実践に工夫を加えながらユニットケアの基本理念「暮らしの継続」を念頭におき、きめ細やかなケアを提供いたしました。

2) 各施設の連携による効果的な運営

- ・年々減少する入所待機者の確保に向け、両施設の生活相談員による居宅介護支援事業所や近隣市町村の病院、及び老健施設などへの営業訪問を実施し、入所待機者の増加に努めました。
- ・施設間における設備や備品の共同利用はもちろん、行事などについても連携を図り、利用者にお楽しみいただけるよう、外出支援にも工夫を凝らし、実施いたしました。
- ・特別養護老人ホームと短期入所及び通所介護の連携は、施設運営の基本であり、共用施設の特色を生かし利用者本位の立場に立った質の高い運営に努めました。

3) 安定した経営と時流に即応する施設運営

- ・介護員不足による入居ユニットの閉鎖および短期入所の受け入れ制限等により稼働率が低迷し、物資高騰が追い打ちとなり、法人全体では赤字決算となりました。
- ・取得可能な加算に関しては積極的に対応し、また次年度に取得を目指す新たな加算の算定要件について確認をいたしました。

4) 組織体制の充実と職員の処遇改善

- ・昨年度多くの退職者が出た介護職の募集に対し、夜勤専従や早番専従・入浴専従など勤務時間や内容を固定し募集したことにより、5月までの2ヶ月で6名の職員が確保され、体制の維持を図りました。
- ・処遇改善加算の一本化に伴う支給額の増加により、定期昇給以外に全職員に対し5%以上のベースアップを実施いたしました。一時金についても例年通りの支給をいたしております。

5) 職員研修の充実と職員意識の高揚

- ・道社協によるオンライン研修をメインに、介護技術や認知症ケア、接遇や身体拘束等の研修会等に積極的に参加をいたしました。
- ・コンサルティング会社による、法人全職員に対するエンゲージメント調査、及び管理職による月2回の会議を実施し、職員の意識改革を実施いたしました。利用者に日々の暮らしを楽しんでいただこうと、おやつレク、映画会、ハンドマッサージ、茶話会等を実施する「いきいきクラブ」が、事務職員を中心に自主的に発足し、利用者に大変喜ばれています。また法人のインスタグラムを立ち上げ、日々の行事や暮らしぶりを定期的に更新し、ご家族様のフォロワーも増加しています。

6) 安心・安全への対応

①介護事故防止対策

- ・介護事故は起きうることを前提に、事故防止委員会を中心として指針やマニュアルの整備、ヒヤリハット事例の周知、及び多職種の職員による原因究明の強化等を実施し、予防に努めました。
- ・ベッド上での呼吸・脈拍数や体動等の確認が可能な見守り機器「ライフルリズムナビ」を導入し、事故が予見される動きに対するアラート機能を活用することにより、さらなる事故防止が期待されます。

②感染症予防対策

- ・新型コロナウイルス等の感染症に対しては、各施設の感染症対策委員会が中心となり、基本的な感染対策の励行や研修により、集団感染等の発生を最小限に食い止めることが出来ました。
- ・インフルエンザ感染者が複数確認された際は、一時的に面会制限を実施した事が功を奏し、感染拡大を防ぐことが出来ました。

③身体拘束・虐待防止・緊急時の対応

- ・当法人の「身体拘束等適正化のための指針」及び「高齢者虐待に関するマニュアル及び指針」に基づき、利用者の尊厳を守るケアを行うために職員研修・教育を徹底し、身体拘束及び虐待事案ゼロの目標を達成いたしました。
- ・緊急時の対応に関しましては、あかびら市立病院との協力医療機関契約に基づき24時間365日の医療相談及び診療対応を実施し、また夜間搬送マニュアル及び夜間緊急連絡網の整備により迅速かつ適切に対応し、ご家族への連絡等へも留意しました。
- ・本年度に関しては、虐待及び身体拘束の実施はありませんでした。

④消防防災対策

- ・避難訓練については、愛真ホームは浸水被害が想定される地域となる為、浸水想定避難訓練も含め法定回数を実施しております。
エルムハイツについては新型コロナウイルス感染者が複数名出たため計画が変更となり、1回のみの実施となっております。
また災害発生時の業務継続計画（BCP）の策定も終了し、職員に対する周知を実施しております。

7) 利用者の権利尊重、苦情解決

- ・利用者並びに家族等から、施設や介護サービスについて改善してほしいこと、その他要望や苦情等に適切に対応するため、施設内に苦情・提言箱を設置するとともに、利用者、家族との相互連携により信頼関係を深めながら権利尊重、苦情解決に適切に対応しております。
- ・施設利用者・家族の権利を尊重し、秘密を保持することは法律で義務付けられておりますので、職員には在職中・退職後においても個人に関する情報などを漏らさぬよう徹底をはかりました。

8) 地域福祉団体などとの連携強化

- ・市内の官民有志により発足された「あかびら共生ネットワーク」を通して様々な人脈を構築いたしました。9月に実施された「ふれ愛ウォーク」に関しては、参加者が愛真ホームおよびエルムハイツに立ち寄り、利用者とのふれあいを楽しまれておりました。

9) 心温まるボランティア活動・ご寄付

- ・ボランティア団体などの訪問については、新型コロナウイルスの分類移行に伴い再開し、ひまわり姉妹やボランティアセンター来夢の皆様など行事の実施にご協力いただきました。
- ・利用者のご家族様や個人団体問わず様々な方より、おむつなどの介護用品類をはじめ金品のご寄贈などを賜りました。心から感謝申し上げます。

2. 各施設の運営

1) あかびらエルムハイツ

- ・利用者の高齢化、重度化により介護業務も複雑になっていますが、利用者家族との対話を大切にしながら利用者の心身の状況や要望など適格に把握し、利用者の尊厳と能力に対応したきめ細かなケアサービスの充実に留意しました。
- ・利用者が、心豊かに明るい雰囲気の中で生き甲斐のある生活を送ることができるよう全職員が利用者の尊厳の確保と自立支援及び能力に応じた介護サービスの提供に心をこめて対応させていただきました。
- ・利用者が生きがいを持って毎日を気軽に楽しんでいただけるよう施設内の「より家族的な温かい雰囲気づくり」に努めました。
- ・個別機能訓練を通し、利用者の自立支援と ADL 維持に努めました。

2) ユニット型あかびらエルムハイツ・赤平愛真ホーム

- ・利用者一人ひとりの意思及び人格を尊重しながら、入居者へのサービス提供に努め、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しました。
- ・ユニットにおいて入居者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援してまいります。これからの高齢者介護の目指す施設ケアは、施設に入居した高齢者に対し、一人ひとりの生活習慣や好みを尊重し、今までの暮らしが継続できるよう、常にその人の立場に立ってその人らしい生活を過ごせるようユニットケアの理念に基づき、ケアサービスの提供に心がけております。

3) 短期入所生活介護事業（あかびらエルムハイツ・赤平愛真ホーム）

- ・各居宅支援事業所のご協力をいただきながら、赤平市をはじめ滝川市、芦別市など市外からも利用いただいております。介護員不足により、新規利用者の受け入れを中止するなど、安定的な運用が難しい状況でしたが、利用者の生活実態、環境などを把握しながら親切で思いやりのある対応に心がけ、家族が安心して利用できるよう努めました。
- ・ショートステイ利用理由については、家族の介護疲れ、在宅での入浴困難、家族の外出が主な利用目的となっており、これにより利用者のご家族の身体的、精神的負担の軽減に努めております。

4) 地域密着型通所介護事業（あかびらエルムデイサービス）

- ・デイサービスの利用者及びそのご家族は、孤独感の解消などやすらぎの場としての利用、あるいはご家庭で介護にあたる方の身体的、精神的負担の軽減などを望んでおり、その期待に応えることのできるよう親切で思いやりのある対応に留意しております。
- ・デイサービスとショートステイは密接な関係にあり、相互利用の利便性について利用者、家族への理解を深め利用増が図られるよう努力いたしました。現在4名の利用者が両サービスを利用いただいております。
- ・利用者や居宅支援事業所のニーズにこたえる形で、午前中利用のみとなる短時間デイサービスを実施し、現在8名の方に利用いただくなど、利用者数も増加しております。
- ・以前より実施しておりましたお楽しみドライブや花見、野外ジンギスカンの他、石狩鍋の日やイモ団子パーティー等、様々なイベントを実施するなど、利用者に飽きさせない工夫を凝らしました。

令和6年度 各事業報告

- 【1】 あかびらエルムハイツ (P 7 ～ P 1 1)
- 【2】 ユニット型あかびらエルムハイツ (P 1 2 ～ P 1 4)
- 【3】 あかびらエルムハイツショートステイ (P 1 5)
- 【4】 赤平愛真ホーム (P 1 6 ～ P 2 0)
- 【5】 赤平愛真ホーム ショートステイ (P 2 1)
- 【6】 あかびらエルムデイサービス (P 2 2 ～ P 2 3)